

INFORMATION

くらしの
情報

暮らしに役立つ身近な情報発信

5月	6月
日 月 火 水 木 金 土	
	15
16 17 18 19 20 21 22	23 24 25 26 27 28 29
30 31 1 2 3 4 5	6 7 8 9 10 11 12
13 14 15	
May to June	

施設のおやすみ

- 役場 ☎79-2111 土曜日、日曜日、祝日
- 診療所 ☎79-2716 土曜日、日曜日、祝日
- 地域福祉センター ☎79-7092 土曜日、日曜日、祝日
- 老人憩の家 ☎79-2111(内線128) 日、火、木曜日
- 中央公民館 ☎79-7940 無休
- 社会体育館 ☎79-4922 火曜日
- 図書館 ☎70-1500 月曜日、祝日、5/28
- 八ヶ岳美術館 ☎74-2701 無休
- 八ヶ岳自然文化園 ☎74-2681 火曜日
- もみの湯 ☎74-2911 5/19、6/2

イベント



津金孝邦展

八ヶ岳美術館開館30周年記念・館内リニューアル記念企画展として、「津金孝邦展」ふるさとに「よせて」が5月31日(日)まで開催されています。また、津金さんをお迎えし、「ギャラリートーク」ふるさとに「よせて」を開催します。

日時 ● 5月15日(日)
午後1時30分～午後2時30分

会場 ● 八ヶ岳美術館企画展示室

問い合わせ先 ● 八ヶ岳美術館

☎74-2701

第6回日赤病院祭

今年の病院祭テーマは、



第26回八ヶ岳(阿弥陀岳)開山祭

本格的な登山シーズンを迎え、山の安全祈願式典を行います。

日時 ● 6月6日(日) 午前11時

場所 ● 八ヶ岳阿弥陀岳山頂

集合時間 ● 午前6時

定員 ● 100人(先着順)
申込締切 ● 5月28日(金)

募集



黒部ルート見学会

黒部峡谷は、宇奈月から樺平間を運行する黒部峡谷鉄道を通じて、皆さんに親しまれてきています。一方、発電施設の保守、工事用としても使用しています。水力発電事業を理解していただくため、見学会を開催します。

問い合わせ先 ● 黒部ルート見学会

☎076-442-8263

募集期間 ● 9月29日(日)

※詳しくは、役場ロビーに設置してあるパンフレット、または、富山県のホームページをご覧ください。



小学生・高校生のための夏休み海外派遣

(財)国際青少年研修協会では、体験を通してお互いの理解や交流を深め、国際性を養うことを目的に実施しています。

内容 ● ホームステイ・ボランティア・文化交流・学校体験・英語研修・地域見学・野外活動など

派遣先 ● 米国・英国・豪州・カナダ・シンガポール・サイパン・カンボジア・フィジー

日程 ● (8/18日) 7月23日(日)～8月15日(日)

対象 ● 小学3年～高校3年

参加費 ● 19万～52万円(共通経費は別途かかります。)

申込締切 ● 6月4日(日)および6月14日(日)
※日程・対象・参加費・申込締切など、事業により異なります。



高島環境ボランティア基金

諏訪地域を中心に諏訪湖およびその周辺河川の自然環境の保全に関する事業や活動を行う個人・団体等に助成を行なう基金です。

助成金額 ● 5万～30万円程度で、必要と認められる額

助成対象期間 ● 平成23年4月～平成24年3月

募集開始 ● 平成22年10月

提出書類 ● 事業の目的・内容・金額などを記載した申請書をご提出いただきます。

問い合わせ先 ● 財団法人国際青少年研修協会

☎03-6459-4661

国際交流を地域づくりに活かす ニュージーランドからALTを迎える

交通や情報通信の発達により、人や物、情報の国際化が加速され、経済や社会、文化、地球環境など様々な分野で、国際社会の影響を受けるようになりました。国際化が進む社会では、今後ますます、国際的視野を身につけることが必要となってきています。原村では、国際化の推進、国際理解・交流の推進を図るため、ニュージーランド・フランクリン地区ブケコヘ区と相互友好都市関係を築き、様々な分野での交流を深めています。

【ありがとう!キミ先生!】

平成17年5月、原中学校と教育交流同意書を結んでいるブケコヘインターメディアートスクールからALT(外国語指導助手)として、ジョージナ・キミ先生が着任しました。そして、約5年間、原小中学校の英語講師だけでなく、住民を対象とした英会話教室の講師など、当村の国際交流推進に積極的に協力していただき、また原村と友好都市締結しているニュージーランドブケコヘ区との橋渡しをしていただきました。キミ先生は、ニュージーランドに戻り、ブケコヘハイスクールに勤務することになります。キミ先生は、「原村に来られて、多くの子どもたちに接して、とてもうれしかった。素敵な思い出がたくさんできました。村の皆さんには、とても優しく接していただき、たくさんのお話を教えていただき、本当に感謝します。」と心から感謝の気持ちを伝えていました。



～ジョージナ・キミ先生&リオン・ショー先生『歓迎会』が開催されました～
4月7日、3月で退任するジョージナ・キミ先生と、後任として着任したリオン・ショー先生の歓迎会を、国際交流クラブ原村の協力により地域福祉センターで開催しました。原中学生や卒業生、キミ先生と親交があった村民約80名が集まり、キミ先生に感謝をし、ショー先生を歓迎しました。当日は、ブケコヘインターメディアートスクールのゲリー・スウィーニー校長先生も来られ、「キミ先生が5年間、原村に勤められ、たくさん村民に支えられたことに感謝し、またキミ先生同様に、ショー先生も助けていただきたい」と述べました。

外国語指導助手(ALT)『リオン・ショー先生』着任

22年3月より、ブケコヘインターメディアートスクールの、ゲリー・スウィーニー校長先生の推薦により「リオン・ショー先生」が原中学校のALTとして着任しました。ショー先生は、ニュージーランドの姉妹友好都市を結んでいるブケコヘ区の隣、ワイウク区出身で、原村に来る前は、ニュージーランドの大学や、韓国の英語スクールで講師を勤められ、子どもから大人まで多くの人へ英語指導をしてきました。日本に来るのは初めてで、キミ先生同様、中央公民館で一般村民向けの英会話講座を開きます。



ショー先生は、原村の印象として「親しみやすい人たちがたくさんいて、みんな活力がみなぎった元気な村」と話し、原村の子どもたちは、「とても好奇心が強く元気がいい。みんな、一生懸命話を聞いてくれるいい生徒だ」と話していました。また、原村の子どもたちへ「英語を楽しみながら学んで、英語を好きになってもらいたい。若い時代の時間を有効に使って、何にでもチャレンジしてください。」と話していました。



■ニュージーランド『ワイウク区』とは…
ニュージーランドオークランド地方に位置し、姉妹都市友好交流を結んでいるブケコヘ区と同じ『フランクリン地区』内の6つの町の1つです。

村づくり通信

村づくり戦略推進室
村づくり係からのお知らせ

TEL:79-7922 (直通)
E-Mail:muradukuri@vill.hara.nagano.jp



原村の人づくり事業～「海外・国内研修」への補助制度～

海外又は国内において、各産業・文化等の先進地の研修視察等を行うことにより、村内産業の発展と村の活性化に寄与する、国際感覚豊かな人材の育成を目的として、村内の事業者及び企業・事業所等に雇用されている人、また村内中学生等に対し、宿泊費及び交通費を補助します。

- 補助の額
対象経費の2分の1以内
国外20万円、県外3万円、県内1万円を限度。
(この事業は、1人1回のみの申請になります)

行政情報

TEL.0266-79-2111 (代)
FAX.0266-79-5504

- 議会事務局 ☎79-7951
- 総務課 総務係 ☎79-2111 (内232) ★災害時連絡先
- 村づくり戦略推進室 村づくり係 ☎79-7922 企画係 ☎79-7942
- 住民財務課 税務係 ☎79-7923 財政係 ☎79-7924 住民係 ☎79-7927
- 会計室 会計係 ☎79-7935
- 保健福祉課 社会福祉係 ☎79-7092 健康づくり係 ☎79-7092 医療給付係 ☎79-7925 原村診療所 保育所 ☎79-2716 ☎79-3559
- 建設水道課 建設係 ☎79-7921 環境係 ☎79-7933 上下水道係 ☎79-7943
- 農林商工観光課 農政係 ☎79-7931 農村整備係 ☎79-7932 商工観光係 ☎79-7929 農業委員会 ☎79-7934
- 教育委員会 教育課 学校教育係 ☎79-7920 文化財係 ☎79-7930 原小学校 ☎79-2123 原中学校 ☎79-2455 生涯学習係 ☎79-7940 中央公民館 ☎79-4922 社会体育館 ☎70-1500 原村図書館
- 諏訪広域連合 原消防署 ☎79-2442 ★災害時連絡先

http://www.vill.hara.nagano.jp/ E-Mail haramura@vill.hara.nagano.jp

村長と話し合おう

第119回「村長と話し合おう日」を行います。希望者はお申し込みください。

■日時／5月19日(日) 午後1時30分～午後7時

■場所／原村役場 村長室

■その他／「村長室へようこそ」事業、村長の在庁時で都合のつく限り懇談に応じます。

☎79・2111 (内線231)
☎79・7092 (直通)

特設人権相談

諏訪人権擁護委員協議会と長野地方司法局諏訪支局では、人権擁護活動の一環として「特設人権相談所」を開設します。

「いじめ」「体罰」「不登校」「虐待」等子どもにかかわる問題「セクハラ」「ストーカー」「性的差別」などの女性問題「親子・親族」「近隣」「村八分」「同和問題」「境界」「借地・借家」「相続」等の問題その他どこに相談してよいか分からない問題も受け付けます。

人権擁護委員が、ご相談に応じます。また、相談は無料で秘密は固く守られます。

■日時 5月28日(日) 午前10時～午後3時

■場所 中央公民館 和室

■相談員 人権擁護委員

☎79・7092 (直通)

子ども手当

「子ども手当」は、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援する制度です。

・子どもを養育している方に、中学校を卒業するまでの子ども1人につき、月額1万3千円(平成22年度)を支給します。

・今まで児童手当を受給できなかった方は、申請が必要になります。

・子どもの出生などにより、対象人数が変わった場合は額改定認定請求を提出してください。

・公務員については、勤務先から支給します。公務員になった場合には、消滅届けの提出が必要です。

・本年3月まで「児童手当」を受給していた方は、申請の必要はありません。

(新たに子ども手当の対象となる子どもがいる場合には、額改定認定請求書の提出が必要となります)

子育てサロン開設

本年度は子ども手当が支給されるため、児童手当は支給されません。

■ 5月の開設日 18日(日)、20日(日)、21日(日)

■ 6月の開設日 1日(日)、3日(日)、4日(日)、8日(日)、10日(日)、11日(日)、15日(日)

■ 開設時間 午前10時から正午まで

保育所や幼稚園へ入園する前のお子さんの遊びの場や保護者の仲間づくりの場としてご利用ください。担当者が子育てのお手伝いをしますので、ご相談ください。

☎79・7092 (直通)



☎79・7092 (直通)

■ 場所／図書館2階会議室 ※交流サロン／5月28日(日) 原村保育所にて行います。保育所入所児童のお兄さんお姉さんと交流できます。大勢ご参加ください。

■ 時間／午前10時～正午

■ 持ち物／汗を拭くタオル 水筒 上履き(必要な方)

これから裁判員となる方へ ～裁判員裁判を経験された方々の声をご紹介します～

自分が今まで経験したこととか、今思っていることを素直に出せばいいと思います。(女性 50歳代 パート勤務)

裁判員は、裁判官とかではないので、「一般人の代表」みたいな感じで、一般人の一般の意見を言った上で、みんなで意見をまとめて、1つの判決になれば、それが一番、裁判員の中で重要なことじゃかいかなあ、と思います。(男性 20歳代 会社員)

ずっと主婦をしていて、何かをみんなと一緒に話し合うことが今までほとんど無かったので、今回参加して、1つの物事に対して色々な方向から意見が出て、話が出来るといった場面があったので、すごく良かったと思います。(女性 主婦)

「裁判員裁判」は、非常に「難しいもの」だと思っていましたが、実際に裁判員裁判に参加して、非常に分かりやすい言葉で、審理・評議が行われたので、参加しやすいと思います。(男性 60歳代 元会社員)

検察官や弁護人は、大変分かりやすく説明しましたし、裁判官も分かりやすさに配慮して、易しく説明したということで、これがやはり「裁判員制度のメリットかな。」というように思いました。(男性 80歳代 無職)

裁判の内容によるかもしれませんが、「もう一度選ばれる機会があったら、是非ともやってみたいかな。」という気持ちです。(男性 30歳代 会社員)

前向きに是非ともトライしていただきたいなと思います。自分の言ったことが、社会に反映されるということについては、大変ある意味、楽しいものだというふうに思います。(男性 70歳代 自営業)

裁判員制度ウェブサイト (<http://www.saibanin.courts.go.jp/>) では、裁判員を経験された方々へのアンケートの結果や、裁判員を経験された方々の声、裁判員制度の運用状況に関する統計データがさらに詳しく掲載されています。是非ご覧ください。

COLUMN 村長インタビュー 山麓朴談 Vol.33



2009年中の原村の人口増加率は、1.05%で県下1位でした。人口動態を国勢調査方式で推計したものです。人口減少に悩む市町村が多い中で、有難いことと感謝致します。

まず長野県の状況ですが、215万8549人で、2009年中に1万3385人減っています。人口が増えたのは9つの自治体だけで、他は総じて減っています。本村に次いで増えているのは、南箕輪村(0.86%)、波田町(0.69%)ですが、波田町は松本市に合併しましたので、今後は比較できなくなりました。

諏訪地方では本村以外の5市町は総じて減っていますが、湖周の3市町が特に減りました。こうしてみますと人口減少社会というのが実感されて淋しい限りです。時代の或る時を限って人口が増えた減ったと騒ぐこともないとは思いますが、人口は活力を維持して行く上で、大変重要な指標ではあります。原村の人口推計値は昨年1年で80人増えて1月1日現在で7696人ですが、住民基本台帳による人口は7864人です。住民基本台帳による人口は7

位多くなるのが常です。増えているのは社会増であって、自然動態では減です。子供の遊び声が満ち溢れる村の実現の為に、もっと子供が生まれて欲しいのですがままなりません。

本村はここ10年以上、毎年50人程度人口が増えています。本村が人々を惹きつけ人口が増えるのは、緑豊かな自然と浩然の気を養える大らかな景観、それに村が行う数々の福祉施策、又村の知名度を上げる努力等の賜だと思います。ホームページからの発信、原村ファンクラブ、原村応援大使、都会での各種イベントへの積極的参加、大学と連携した地域づくり、そして移住交流促進事業、医療費や健診の無料化、子育て支援や若者定住促進等。これらが魅力を作ってきたのだと思います。人口は一度減少に転じるとなかなか回復は難しいので、村の活力と魅力を保つということが大切です。参議院の「国民生活・経済に関する調査会」の聴取でも、本村の福祉施策と人口増は注目されました。

ところでこんな投書がありました。「人口増は良いけれど8千人位で止めておくべきだ。新住人は村の習慣を理解しないし、協調もしない自己主張が強すぎる。土手草も焼けないし、消毒も出来ない。雪もかこうとしない。トラブルが多くなるだけだ。」。少々のことばは仕方ないとして、お互いがもっと近づいて理解し合うことが大切だと思います。人口が増えるだけでなく、心と村として発展して行きたいものです。

原村長 清水 澄

保健・福祉の掲示板

原村地域福祉センター 保健福祉課 ☎79-7092
原村診療所 ☎79-2716

くらしのガイド

■上水道当番指定店

5月9日(日)~5月15日(土)	(株)キタハラ	☎72-7418
5月16日(日)~5月22日(土)	(株)有賀水道	☎72-4017
5月23日(日)~5月29日(土)	南部建設(株)	☎79-5720
5月30日(日)~6月5日(土)	(有)森山建設	☎79-5730
6月6日(日)~6月12日(土)	(有)伊藤水道設備	☎79-3447
6月13日(日)~6月19日(土)	(有)篠原鉄工建設	☎79-2421

給水装置の修理は施工された指定工事店へ依頼してください。緊急の場合は当番店でも相談にのっています。

■資源物とごみの収集日

収集時間は、各地区により決められた時間となります。

可燃ごみ	毎週火・金曜日	各地区 指定箇所
不燃ごみ	毎週水曜日	
資源物	5月22日(土) 6月10日(木)	役場駐車場 ▶午前7:30~午前10:30 各地区 指定箇所
粗大ごみ	5月31日(月) 6月7日(月) 6月14日(月) 6月21日(月)	払沢、中新田 大久保、柳沢、ハツ手 柏木、室内、菖蒲沢、やつがね、南原 判之木、上里、ペンション、原山、農場

野焼き・不法投棄は法律で禁止されています。ごみは適切に各地区指定箇所に出して下さい。

■焼却ごみ収集量および可燃系資源物回収量

	焼却ごみ収集量	19年度比	可燃系資源物回収量	19年度比
2010年3月	79,730 kg	112.80%	25,950 kg	84.37%
3月までの累計	997,340 kg	99.48%	319,454 kg	88.89%

■今月の納税等

- ・国民健康保険税(普通徴収2期)
- ・軽自動車税(全期)
- ・上・下水道使用料(3・4月分)
- ・介護保険料(普通徴収2期)
- ・後期高齢者医療保険料(普通徴収2期)

納期限・口座振替日……5月31日(月)

■住民財務課窓口の時間延長 午後7時まで

5月18日・5月25日・6月1日・6月8日・6月15日

■人の動き

・人口 7,888人 (+33) 転入64
 ・男 3,925人 (+34) 転出22
 ・女 3,963人 (-1) 出生4
 ・世帯数 2,888世帯 (+38) 死亡13
 平成22年4月末現在。()内は先月比。

もみの湯送迎福祉バス

- 1班 5月25日(火)、6月8日(火)
大久保・柳沢・ハツ手・払沢・上里・農場・ペンション・原山
- 2班 5月18日(火)、6月1日(火)、6月15日(火)
柏木・菖蒲沢・室内・中新田・南原・判之木・やつがね

もみの湯『介護予防教室』

- 5月18日、5月25日、6月1日、6月8日、6月15日
 》時間：午後1:30~ 》場所：もみの湯
 》問い合わせ先：保健福祉課 健康づくり係
 ☎79-7703 (直通)

原村診療所

区分	月	火	水	木	金
午前 受付8:30~ 11:30 診療9:00~	安藤公二	安藤公二	鎌田賢 または 安藤親男	安藤公二	安藤公二
午後 受付1:30~ 4:45 診療2:00~	安藤公二	安藤公二	安藤公二	休診 健康相談 (担当 看護師)	安藤公二 第①午後2~3時 漢方外来 長坂和彦

- 休診 土・日曜日、祝日、年末年始
 》問い合わせ先：☎79-2716 (直通)

休日の当番医等 茅野・原地区医師会

期日	医科	薬局
5月16日	原田内科呼吸ケアクリニック ☎82-7055	わかば薬局 ☎82-4108
5月23日	おもだか皮膚科 ☎73-2525	ヤジマ薬局 ☎72-2342
5月30日	八ヶ岳メンタルヘルスサポート ☎75-2088	ヤジマ薬局 ☎72-2342
6月6日	ちのメンタルクリニック ☎82-8277	上原ファミリー薬局 ☎73-7177
6月13日	ヨコイ眼科 ☎72-2316	茅野土屋薬局 ☎71-2122

■諏訪地区小児夜間急病センター

- ・場所/諏訪市四賀2299-1
- ・診療日及び診療時間/毎日
午後7:00~午後9:00
- ・診療科目/小児科(けがは除く)
- ・お問い合わせ ☎54-4699 (よるきゅうきゅう)

■『土砂災害110番』窓口(土砂災害に関する質問・相談)

☎57-2936
 ※平日と大雨注意報・警報発令中に利用可能

「みどりの健康館」
 “五月病”あなたは大丈夫？
 日に日に暖かさが増し、とても穏やかな季節になってきました。みなさん体調はいかがでしょう。か。新年度が始まって1ヶ月が過ぎ、ご家族のなかには新しいスタートを切った方もいることでしょう。

毎年この時期に、なんだか体がだるくなる、気分が落ち込む、やる気が出ないなど不調を訴える人が多くいます。俗にいう“五月病”といわれるもので、新しい環境や慣れない生活のなかでの緊張感がひと段落し、自分でも気づかないうちに溜め込んでいたストレスが症状として現れます。このような症状があらわれた場合はどうしたらいいのでしょうか。

もつとも良い方法は、無理せず静養することです。みなさんはストレスの対処法をお持ちですか？ある調査によると、女性は「家族や友人に話を聞いてもらう」人が最も多く、男性は、「趣味を楽しむ」人が多いという結果が出ています。しかし、ストレスは自分でも気づかない場合も多く、まわりの家族が気づいてあげることが大切です。家族が疲れているかな？と感じたら、声を掛け、無理をし過ぎてないか話し合ってみましょう。また、不眠、頭痛、めまい等症状が身体的に大きな負担になっている場合は、早めに専門機関に相談しましょう。村でも、精神保健相談会を実施します。一人で、または家族だけで問題を抱え込み過ぎないことが最も大切です。

忙しいかな？と感じたら、今の生活をふと立ち止まって振り返り、自分自身の心と向き合ってみましょう。

(保健福祉課保健師・松澤利子)

レシピ61 さけとほうれん草のキッシュ

☆つくりかた

- ①ほうれん草は塩少々を入れた熱湯でサッとゆで、水にとってから流水でよく洗い、水気を絞って3cmに切る。鮭は魚焼きグリルで両面をこんがり焼き、皮と骨を取り除いて1口大にほぐす。しめじはほくし半分に切り、耐熱のボウルに入れ、電子レンジで1分半加熱する。
- ②パイ生地は解凍し、型より少し大きめにのばす。型に敷き込んで余分な部分を切り取り、冷蔵庫で休ませる。
- ③卵を溶きほくして生クリームを加え、塩・コショウで調味する。①の具を混ぜる。
- ④②に③を流しいれ、180度に温めたオーブンで、こんがり焼き色がつくまで20~25分焼く。

一口メモ 鮭を先にグリルする事で臭みをなくします。手間をなくして生のままでもOKです。パイ皮は、具を入れる前にオープン180度で10分焼いておくことより触感が良くなりますよ。

種別	実施日・受付時間	場所	対象者
ボリオ	17日(月) 午後1:15~午後1:30	地域福祉センター	7才半~H21年12月生
B C G	19日(水) 午後1:00~午後1:10	地域福祉センター	H22年1月生
子宮がん検診	20日(木) 午後12:30~午後12:45	保健センター	希望者(要予約)
母親学級前期コース②	21日(金) 午後1:00~午後1:15	地域福祉センター	希望者(要予約)
乳児検診	25日(火) 午後1:00~午後1:15	保健センター2階	H21年7、10月、H22年1月生
2歳半歯科健診	26日(水) 午後1:00~午後1:15	保健センター2階	H19年9、10、11月生
母乳学級	27日(木) 午後1:30~	保健センター2階	希望者(要予約)
乳がんマンモグラフィ検診	28日(金) 予約した時間	保健センター	希望者(要予約)
ヘルススクリーニング	1日(日)~4日(水) 午前8:30~午前11:00 午後1:00~午後3:00	地域福祉センター	希望者(要予約)
健康相談	7日(月) 午後1:00~午後3:00	保健センター2階	希望者
育児相談	8日(火) 午前9:30~午前11:00	保健センター2階	希望者
2歳児歯科健診	9日(水) 午後1:00~午後1:15	保健センター2階	H20年3、4、5月生
むし歯予防教室	10日(木) 午前9:45~午前10:00	保健センター2階	希望者
離乳食教室11・12ヶ月コース	10日(木) 午前9:45~午前10:00	中央公民館	H21年6、7月生
乳がんマンモグラフィ検診	11日(金) 予約した時間	保健センター	希望者(要予約)
三種混合	11日(金) 午後1:15~午後1:30	地域福祉センター	7才半~H21年11月生
母親学級後期コース	12日(土) 午後1:15~午後1:30	地域福祉センター	希望者(要予約)

保育所とこひつじ幼稚園で入園式

4月1日には、原保育所で入園式が行われました。入園式で清水村長は、「最初は、環境に慣れるまでは大変だと思いますが、たくさん食べて、たくさん遊んで、大きく育ててください。」と挨拶しました。また、在園児が「春が来たんだ」を歌い、新入園児を歓迎しました。そして、保育士による保育所生活の1日を劇にして、新入園児に披露していました。



4月7日には、こひつじ幼稚園で17名の新入園児を迎え、入園式が行われました。この日はあいにくの雨模様となりましたが、会場には多くの来賓の方が訪れ、新入園児にお祝いの言葉を贈りました。また最後には、在園児から新入園児へプレゼントが贈られ、入園式を閉じました。



原小・中学校で入学式



4月6日には、原小学校と原中学校で入学式が行われました。

原小学校では、60名の児童が入学しました。入学式で加藤校長先生は、「自分から気持ちの良いあいさつをしてください。そして、明日からはルンルン気分です。原小へ来てください。」と歓迎の言葉を贈りました。また、原村商工会から、今年で30回目となる、黄色い安全帽子が贈られました。



原中学校では、73名の生徒が入学しました。生徒玄関前には、クラス名簿が掲示され、自分や友人の名前を探す新1年生の姿が見られました。また、入学式で小林校長先生は、「中学生と呼ばれることは、人生の大きな転機であり、大人への第一歩です。そのためには希望や願いを持つことが必要です。」と式辞を述べると、新1年生は緊張した面持ちで耳を傾けていました。

ニュージーランドホームステイ

原村人づくり事業で、友好都市のニュージーランド・フランクリン地区ブケコヘ区に、原中学校の生徒9名がホームステイをしました。この原村人づくり事業は、平成9年から始まり、今回で13回目となります。また、19日の壮行会では、「文化の違いを学びながら、日本の文化を伝えたい」、「たくさんの友人を作りたい」など、参加する生徒が一人ずつ抱負を発表しました。

期間は、3月19日から30日までの12日間で、ホームステイやブケコヘの学校の生徒との交流・オークランド市内の見学などを行いました。30日には、参加した9名の生徒が元気な姿で、原村へ帰ってきました。

なお、今年9月には、ブケコヘインターメディアートスクールの生徒や先生が原村を訪れ、ホームステイをする予定です。→



御柱祭 前宮三の木作り



3月31日に行われた前宮二の御柱の木作りには、朝から多くの氏が集まりました。まず神事が行われ、その後、斧係が中心となって木作りが行われました。午後になると曳行時に乗るメドデコや、柱と曳き綱をつなぐワナグリを御柱に取り付けました。作業は夕方遅くまでかかりましたが、無事作業が終了しました。

また、この日は、前宮二の他にも、4つの柱でも木作りが行われ、御柱街道は大勢の氏で賑わっていました。



海外青年協力隊 帰国報告

2008年6月から2010年3月まで、バヌアツ共和国へ海外青年協力隊員として派遣されていた進藤久美さんが、清水村長へ帰国報告を行いました。バヌアツ共和国では、音楽教員を育てる養成所に勤務し、小中学校・高校の教員になる学生に、音楽の基礎や授業の進め方などを教えていました。進藤さんは、今まで教員としてやってきた事が、現地でも活かすことができたそうです。また、言葉は大変だったが、現地の方がとても話し掛けてくれたので、さみしくはなかったそうです。進藤さんは現在、音楽科の教員として原中学校に勤務しています。今後は、原中の生徒に世界の音楽を紹介するなど、バヌアツ共和国で経験したことを、授業に活かしていきたいと、笑顔で話してくれました。



ハッ手機織り保存会展示即売会



3月21日には、ハッ手機織り保存会が、展示即売会をハッ手公民館で行いました。会場には村内外から幅広い年齢の方が大勢訪れ、賑わっていました。茅野市から来た方は、「子供の頃は、ほろ機織りの良さが分からなかった。祖母や母が行ってきたこの伝統は、続けて行かなければと思う」と話していました。また、横浜から来た家族は、村内へ宿泊して、この展示即売会を知ったということで、「すごく楽しい。ものづくりが好きなので、来て良かった」と話していました。会場には、色鮮やかな作品が数多く展示されていました。